

第 8 3 回入学式 式辞

沖縄県立宜野座高等学校

校 長 山 田 義 二

新緑が芽生え、春の息吹が感じられる今日の佳き日に、ご来賓並びに保護者の皆様のご臨席の下、令和 7 年度の入学式が挙行できることを関係者一同、心より感謝申し上げます。ただいま入学を許可された 8 6 名の皆さん、入学おめでとうございます。在校生及び職員一同、皆さんの入学を心より歓迎いたします。

皆さんは、おそらく人生で初めての試練であった高校入試を乗り越え、達成感を味わっていることと思います。このことは、皆さん一人ひとりの努力の成果ではありますが、それを支えてくれた先生方やご家族等、多くの方々の温かい支えがあったことも忘れないで下さい。

さて、今日から皆さんは宜野座高校生です。明日から様々な授業や行事が始まります。そのような中、皆さんに心掛けてほしいことがあります、それは、宜野座高校の流れに早く慣れてもらいたいということです。大事なことは受け身にならずに、何事も主体的に取り組んでももらいたいということです。受け身では、流されるばかりで、自分がどこにいるのかわからなくなってしまいます。自分は「何がしたいのか」「何をすべきなのか」を本校の活動の中で主体的に考えてもらいたいと思います。

なぜ「主体性」にこだわるのかというと、皆さんが成長する真ただ中にいるからです。中学生から高校生へ成長し、さらには大人になっていきます。その中で皆さんが心で感じたり、頭で考えたりすることの成長は自分から成長しようと主体的に努力しなければうまく成長していきません。その成長のヒントが学校での様々な学びやクラスメイトとの学級活動に隠されています。その一つひとつを皆さん一人ひとりが見つけ、心に感じ、頭で考え、自分のものにしていけるのです。つまり、心に感じたり頭で考えたりしながら成長する努力を続けてほしいということです。そうすれば皆さん一人ひとりが宜野座高校の流れに早く慣れ、実りある高校生活になるとと思います。

また、土曜日に大きなニュースがありました。野球部の春季大会優勝です。野球部がやり遂げた成果は昨年の秋季大会の 2 回戦敗退から半年間、厳しい練習を通して一人ひとりが努力を重ねた結果です。野球部の成長を支えたのは努力の積み重ねだということです。だから、皆さんも一人ひとりが役割をこなしながら成長する努力を重ねていってもらいたいと思います。

学校としても皆さん一人ひとりがうまく流れに乗り、持っている可能性を最大限に伸ばす教育活動ができるよう取り組んでいきます。皆さんは、勉強や部活動、資格取得に積極的にチャレンジし、主体的に取り組めるものを見つけ、充実した高校生活を過ごして下さい。皆さんの成長の伸びしろは無限大です。

本校は、昭和 21 年に創設され、「学習は専心を尚（たつと）ぶ」「運動は快心を尚

ぶ」「交友は純心を尚ぶ」の3つの校訓の下、今年度で創立80周年になります。東に太平洋を、西にはガラマン山系を望む風光明媚で豊かな自然に囲まれた環境の中で文武両道を理念とした教育活動を展開し、これまで多くの優秀な人材を輩出してまいりました。新入生の皆さんも先輩方に負けないよう、宜野座高校生としての誇りと自覚を持ち、歴史と伝統を受け継ぎ、母校のさらなる発展に貢献してくれることを期待します。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学にあらためてお祝いを申し上げます。高等学校の3年間は、少年期から青年期へと成長し、変化が著しい時期です。親子間の距離感を感じられる時もあると思います。お子様の成長を、時には温かく、時には毅然とした態度で見守って下さい。

結びに、これまで諸先輩たちが築いてきた伝統を新入生の皆さんが更に継承し、一人ひとりが飛躍していくことを期待します。ご父母、そして、ご家族の皆さん、入学されたお子様の将来がますます輝けるように、共に歩んで行きましょう。

令和7年4月7日